

講習会実施要領

(新型コロナウイルス感染症対策)

講習会要項（参加者募集）における確認事項

○次のことが当てはまる人は講習会に参加できない。

※講習会当日、会場入口前で検温を実施

- ◎体温が 37.5 度以上ある人や 37 度以上あり且つ風邪症状がある人
- ◎同居家族や身近な知人に感染者または感染の疑いのある方がいる人
- ◎過去 14 日以内に渡航歴のある人や感染流行地域を訪れた人
- ◎基礎疾患のある人

※基礎疾患のある人…糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患、透析を受けている人、抗がん剤などを用いている人

※基礎疾患のある人が理由あって参加する場合は、主治医の承認を得るものとする。

○講習会に申し込む人は、自己の責任において当日の講習会に参加するものとする。

○過去に新型コロナウイルス感染歴のある方は、参加について医師と相談して決める。

○運営関係者（役員・講師・係員・参加者等）以外の方の入場はできません。

当日の注意事項

- 「施設利用にかかる新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト」を必ず持参すること。忘れると会場に入れない。
- 着替えは原則自宅で済ませておく。
やむなく会場内の更衣室を利用する場合は密を避け、交代で使用する。
- 体温測定と次の体調確認を行う。
咽頭痛、咳、臭覚異常、味覚異常、強い倦怠感、その他の症状（頭痛・腹痛・下痢・嘔吐等）
- 参加する時は、マスクを必ず着用すること。（外出時から着用）
マスクは複数枚持参することが望ましい。
- 靴を入れる袋を持参して、各自で靴の管理をすること。
会場以外を裸足で移動しない。主催者が配布するビニール袋を靴入れとして使用する場合は、使用后ビニール袋を必ず家まで持ち帰ること。会場内で捨てない。
- 参加する全ての人は、係員の誘導に従って行動すること。
- 施設内に入場する人は、全員必ずマスクを着用し、私語を慎む。
- 入場する時も含めて、常にフィジカルディスタンス（他の人との距離）を約 2m（最低でも 1m）確保する。会場へ入場する参加者の人数制限等を検討する。
- 会場内に入る時は、必ず足の消毒を行うこと。消毒液や除菌ティッシュなどは各自持参のものでも可。（主催者側も準備する。）
- 講習会前および講習会後に、手洗い・うがい・手指のアルコール消毒を行う。
- 自分の剣道具および竹刀・面手拭などを他の人に使わせない。
また他の人の物を使わない。（忘れ物をしないこと。）
- 食事の空箱・ペットボトル・持参した物など、ごみは必ず持ち帰ること。
会場内で捨てないこと。
- 役員・講師・係員はマスクとともに全員フェイスシールドも着用する。

運営上の留意事項①

- 施設に入場する時に、申込者名簿により入場者の検温を実施する。
- 受付で参加者が密集して並ばないように、約 2m 間隔で床にテープを貼って距離を保つようにする。
- 施設内の数か所にアルコール消毒液を設置する。
各会場にアルコール消毒液・ティッシュを設置する。
- 人が触れる所（ドアノブなど）は、定期的にアルコール消毒する。
- 参加者は、観客席を控え場所として使用する。観客席が密にならないように、一つ置きに使用するようにする。
- 会場内の室温・換気には十分注意する。

運営上の留意事項②

- 開会式および閉会式は、簡素化して短い時間で行い、密にならないようにする。
- 会場内の入口と出口を明確に分ける。出入口の数をある程度限定する。
- 講習会終了後 2 週間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告をすること。

講習会の中止について

～下記の場合は講習会を中止する～

- ①新型コロナウイルス感染症について、福岡県が「緊急事態措置区域」に分類されている場合
- ②講習会当日、午前 6 時の時点で暴風雨警報発令中の場合